

市と多様な主体との協働に関する実績・評価（抽出調査）について

1 調査の目的

市と市民等との協働事業について、市と受託者の双方が事業の協働状況に関し自己評価・相互評価をし、浜松市市民協働推進条例に掲げる基本理念（対等性・公正性・透明性の確保、自主性・主体性の尊重等）にのっとり事業が行われているかを調査するもの。

2 調査方法

平成 29 年度に執行した NPO 法人及び市民活動団体に対する委託事業（215 件）から調査対象事業を選定し、対象事業の受託者（市民活動団体）、市担当課の双方にから別添「抽出調査シート（資料 1-1）」により回答を得た。

3 調査対象案件

委託事業 7 件（区の地域力向上事業）

4 回答結果

(1) 事業の目標設定と成果（事業についての評価・点検）

①共有した事業目的

全ての案件で、市民活動団体と市が同じ目的を共有していた。

②共有した目標

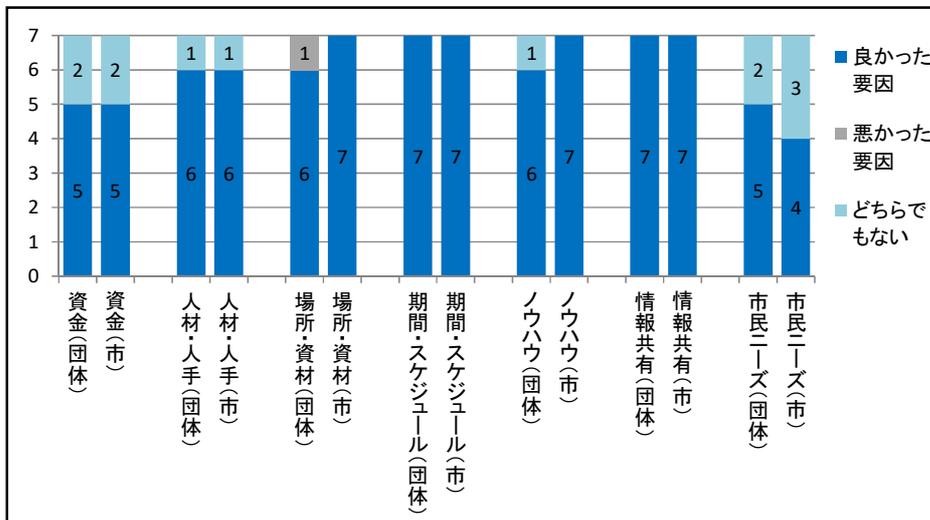
全ての案件で、市民活動団体と市が同じ目標を共有していた。

③目標の達成状況とその理由

全ての案件で、市民活動団体と市の双方が目標を達成できたと回答した。理由として、参加者数の増加、参加者アンケートでの高い評価、地域の事業に対する高い認知度が挙げられている。

④要因の検証（7 点満点）

各要因について、「良かった要因」、「悪かった要因」、「どちらでもない」のうちから回答



- ・6 項目について、市民活動団体、市の双方とも 5 者以上が良かった要因と回答している。
- ・悪かった要因「場所・資材」の理由は貸会議室の予約が取れないことが多かったため。

⑤協働による効果

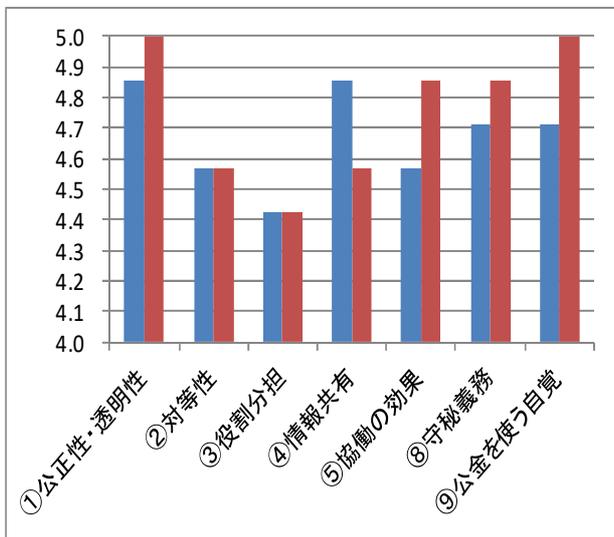
市民活動団体の回答	市の回答
<ul style="list-style-type: none"> ・単独実施では予算がないことから、託児所を設置できなかつたり参加者から参加料を取ったりする必要があったが、<u>委託事業により理想の形で事業を実施できた。</u> ・<u>市と対応策を一緒に考えることができた。</u> ・地域内の住民組織、福祉関係機関、団体が同じ目的意識を持って実行委員を担うことで<u>横の繋がりが生まれた。</u> ・<u>市の委託料により幅広い内容で実施できた。</u> ・<u>団体からの事業立案を積極的に実施できた。</u> 	<ul style="list-style-type: none"> ・団体の豊富な経験を活かすことができた。 ・区内の各関係機関と協働して事業を行うことで<u>相互理解や連携が生まれた。</u> ・地域の市民活動団体との協働だけでなく<u>受益者の理解協力があった。</u> ・<u>地域住民であるからこそ知り得る情報や関係者との信頼関係により効率的に実施できた。</u> ・人員の確保と地域に精通した者による実施により効果が非常に高かった。 ・区内の各関係団体の取りまとめや企画運営を円滑にできた。 ・<u>団体が地域に精通しており天候等の状況変化に適切に対応できた。</u>地域の魅力を参加者に効果的に伝えることができた。

(2) 協働したことについての評価・点検

①相互評価 (5点満点) ※平均点

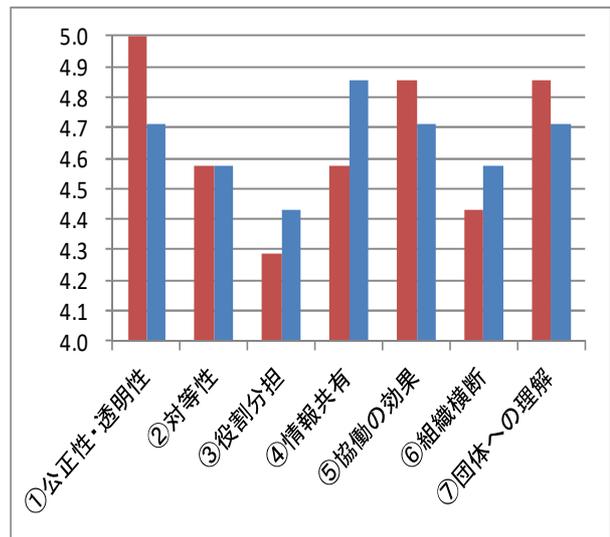
市民活動団体に対する評価

■自己評価 ■市からの評価



市に対する評価

■自己評価 ■市民活動団体からの評価



- ・全項目平均点が4.2点以上である。
- ・双方に共通して「③役割分担」の点数が他の項目に比べて低い。
- ・市民活動団体について、自己評価よりも市からの評価が高い傾向にある。

②改善の検討（上記①～⑨のうち、特に改善が必要と感ずること）

	市民活動団体の回答数と内容	市の回答数と内容
双方が改善	2件 ③市が動き過ぎている部分があった。 ③団体の高齢化による担い手不足、資金面の個人負担増。	1件 ③契約書の内容を超えて動いてしまった。
市民活動団体が改善	1件 ③役割分担を市に頼っている。団体の積極性に欠ける。	1件 ④団体の中心的人物が減少。
市が改善	2件 ③ある程度の予算が必要。 ⑤⑥協働事業に対する意識と積極的な指導が必要。複数部署との連携が必要。	1件 ⑤業務に応じた適切な委託料の支払が困難になる可能性があり、活動内容に影響が出る懸念がある。

③良かった点や改善提案

	市民活動団体の回答	市の回答
良かった点	<ul style="list-style-type: none"> ・市の担当が受付、清掃を担い、講座の準備、片づけに集中できた。 ・事業目的がしっかり共有できた。 ・事業を通じて<u>地域の団体や機関の連携強化に繋がっている。</u> ・<u>市の調整によりスムーズに進めることができた。</u> ・委託という形で市と市民活動団体との<u>協働によりまちづくりに繋がった。</u> ・市民団体からの<u>事業立案を積極的に実施できた。</u> 	<ul style="list-style-type: none"> ・費用対効果が高い内容であった。 ・地域の実情を把握している団体が実施することで円滑に講座を開催できた。 ・<u>地元精通した者によりニーズが高い場所を把握しており、実施効果が非常に高い。</u> ・長年の業務継続により<u>完全に団体主体で実施できるようになった。</u> ・市のネットワークを使いボランティアスタッフを募集できた。 ・直前の天候不良があったが、地域を良く知る団体だからこそ<u>臨機応変にプログラムを変更できた。</u>
改善提案		<ul style="list-style-type: none"> ・イベントのタイムテーブルにより<u>役割分担を確認すればよかった。</u> ・団体の次代を担う<u>人材育成が急務</u>である。 ・団体の高齢化が進んでいるが、団体が新規の<u>地域サークルに積極的に加入を促し、5団体が加入した。</u>今後も積極的な声掛けが必要である。

(3) その他

市民活動団体	市
<ul style="list-style-type: none">・市には地域団体に委託事業の募集を積極的に行い、地域の活性化を図っていただきたい。・事業を継続して行うことで<u>団体の会員数も年々増加傾向</u>にある。	<ul style="list-style-type: none">・会場となった<u>協働センター</u>は高齢者の利用率が高いが、講座により乳幼児と母親という<u>若い世代が訪れるきっかけ</u>となった。・<u>地域住民が郷土愛を育み</u>、地域を見直すうえで貴重な機会となった。・地域で活躍する<u>人材の育成</u>にも繋がっている。

5 総評

今回の対象案件は、市民活動団体と市が事業の目的や目標を共有したうえで目標が達成されており、お互いが高い満足度であることが確認できた。

協働して行うことで高い成果を得られたという回答が多く、委託事業として行う意義が大きい。相互評価においても、各項目についてお互いが高い評価点をつけていた。

市は市民活動団体の地域への精通度を高く期待し、市民活動団体は市の資金と調整力を期待している。

一方で、市民活動団体の担い手不足を双方が課題として認識している。積極的な声掛けや事業の継続により団体の加入者数が増えたという意見があり、市民活動団体と市が連携して担い手の育成に取り組んでいくことが必要である。